

真のお父様を迎えましょう

今回みた映像は、お父様が日本の名古屋に来日された時に語られたみ言です。深刻なみ言です。私達統一食口しか日本を救う道がないのです。そして青少年を正しく導くにはお父様のみ言しかないのです。お父様は名古屋を発端に日本の津々浦々まで伝播して行ってほしいと語られています。その3年後には阪神大震災がおきました。3年前も東日本大震災がおきています。その震災の問題は現在も終結したわけでないという事をよく理解しなければなりません。

私達は、喜びの心とそして平和でいたいと願っておりま。それは信頼され認められれば喜びを感じるのです。ですから最もその主体である真の父母様であり、天の父母様から信頼され認められれば、一番の喜びを感じるのです。真の主人になったと褒められた時に真の平和と喜びがあるのです。では、そのように認められるためには何が必要なのでしょう？①み言の印を受けることです。み言によってこの道にきました。どれほどありがたい事でしょうか？②愛の印です。神様が送った人を愛することです。送られた真の父母様を日本はどれほど大事にしたのでしょうか？入国すら出来なかった唯一の国であるという事を忘れてはいけません。そしてお母様がVISION2020を提言されやりたいことがあるのです。2020年は日本でオリンピックがあります。外的にはそうですが、その時に日本で祝福を行いたいのです。これこそ父母様の願いです。そのように父母様が願う事をする事が愛することです。③心情の印です。神様の心情を慰めて体恤することです。簡単に言うと神様が悩むことを一緒に悩むと言うことです。

この国は最後までお父様の入国を拒否した国です。何としてでも真の父母様は受け入れる国しなければならないのです。その責任が残っているのです。真の父母様が一番願っているものは何でしょうか？この93日路程は御父母様の事を一緒に考え、一つの目標でも持って、一緒に考え、一緒に闘って、一緒に祈っていかなければならないのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2、聖和 2 周年特別精誠期間

TFが聖和され、震災3年を越え2014年7月にラスベガスのPeacePalaceがついに奉獻されることになりました。聖和の直前まで日本を愛してくださったTFの愛を追慕し震災から3年の期間を象徴した3次に渡る2周年特別精誠期間をもって参りますので天一国時代を超えて日本の復興を具体的に天に奉獻して参りましょう。

1次:天曆2月3日(陽曆3月3日)~天曆4月2日(陽曆4月30日)

2次:天曆4月3日(陽曆5月1日)~天曆6月4日(陽曆6月30日)

3次:天曆6月5日(陽曆7月1日)~天曆7月16日(陽曆8月11日)

3、真のお父様聖和2周年 93 日伝道路程

◆条件:「原理講論」または「天聖經」完読

◆目標:一家庭祝福伝道

◆期間:2014年5月12日~8月12日(陽曆)

4、日韓友好シンポジウム

日時:6月22日(日)14:00~16:00

場所:日光総合会館 中会議室

講演:大塚 克己 平和統一聯合中央本部長

5、第3地区 総会長特別集會(仮称)

期日:7月2日(水)10:30~13:00(予定)

場所:むさしのグランドホテル(埼玉県上尾市原市315)

参加対象:牧会者、婦人代表、教会スタッフ、全食口

参加感謝献金:1000円

東埼玉教区230名、浦和教会46名になります。

6、平和統一聯合創設10周年記念大会」及び「平和行進」

日時:7月4日(金)午後1時30分

場所:日比谷公園大音楽堂

(千代田区日比谷公園1-5)

参加費:1,000円

東埼玉教区160名、浦和教会33名になります。

7、真のお父様聖和2周年訪韓

日時:8月11日~13日

お早目にお申込みお願いいたします。

東埼玉92名、浦和教会20名

8、VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会

第15回:2014年 7月17日(木)~7月22日(火)

第16回:2014年 8月12日(火)~8月17日(日)

【年頭標語】

창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長:李炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李 炯燮教区長
司会者：筒丸典利青年部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 27番	全 体
※敬 拜	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	三浦絹子
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	私たちの忘れたもの	
※讃 頌 聖歌 20番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

信仰生活は、必ず傍観者の立場を脱皮しなければなりません。皆さんは今、先生に従っていますが、先生を中心として信仰生活をするではありません。皆さん自身を中心として信仰生活をするのです。ですから、信仰生活をする人には、人がどうであろうと、自分一人が守っていくべき信仰の道があるのです。

そのような信仰生活は、周りの人から学べない深い心情の世界において、天を中心として一人で感謝する生活、一人で満足する生活ができなければなりません。

世の中がどんなに悪くても、天地を見つめながら、「感謝します。私は幸福です」と言える信仰生活をしなければなりません。

そのようにできず、そのようなことを感じられなければ、その反対の立場、この上なく悲しい立場で、「私は罪人です。私は足りない者でございますので、勇気をお与えください」と決意して再起する、そのような期間を必ず持たなければならないのです。

～天聖經 第八篇 第1章信仰生活とは何か～



統一運動

天地人真の父母様の勝利帰国祝勝会および訓読会

真のお母様はヨーロッパ宣教40周年を迎え、第二天正宮建立地として祝福されたスイスを訪問された。17日間で12ヶ所の名山に登攀、巡礼された上に「真の父母経」を読破されるなど、真のお父様御聖と2周年とVISION 2020勝利に向けた特別な精誠を尽されて勝利帰国されました。

このような精誠の上で天一国2年天曆5月17日(陽曆6.14)午前6時、天正宮2階チャペル室で天地人真の父母様をお迎えし「天地人真の父母様の勝利帰国祝勝会および訓読会」が行われた。訓読会には、摂理機関長・企業長・全国の牧会者、家庭連合をはじめとする摂理機関の役職員、財団・企業の職員など500人余りが出席した。

この日の真のお母様は、欧州歴訪の特別精誠、そして真の父母経について次のように話をされました。「今回アルプス山脈の色々有名な山を巡礼しました。アルプスを中心に5ヶ国が連結されていて過去の巡礼者が山を越えて宣教の道を歩んだ歴史的な証拠を見ました」とされ「以前、真のお父様がスイスで蒙古斑同族大会を主催されたことがあります。

今回巡礼した名山の中にモンゴル人が精誠を込める姿を確認できる所もありました。彼らは天に何を願ったのでしょうか?と話されてスイスの色々な名山を精誠で巡礼した話をされました。

